

まずのスタートを切ったようです。 どうやら、大学間発コラボ商品は、まず

す。これは宇都宮大学と横浜国立大学のコラボレーション商品で、こうした形での国立大学の宇都宮側は全国初とのこと。 コラボの宇都宮側は推進役だった沼尾建男さん(現・キャリア教育・就職支援室長)は、 「内容は、米粉いちごクッキーと、はちみつ紅茶クッキーの詰め合わせです。米粉は宇都宮大学が開発した新品種米『ゆうだい21』を、小麦粉も私どもの附属農場産の小麦を使用しました。商品名『森のバスケット』は宇都宮大学の学生が考案し、包装紙やシールは横浜国立大学の学生がデザインしました。両大学の得意分野を活かした商品になっていると思います」と話します。



「ゆうだい21」の説明に熱が入る附属農場長の居城教授

また企画広報部企画広報課の手塚絵美子さんも「発売直後から好評で、学生が帰省の際に買って行ったり、先生方が遠方で行われる会議などへ手みやげで持って行ったりしてくださって、じわじわと評判が広がっています」と笑顔で話します。

「この『ゆうだい21』を、ぜひ多くの農家に育てていただきたいと、PRに力を入れています。実際に作ってくださった農家の方々や、食べていただいた方々には、好評です」と居城教授は力を入れます。

「この『ゆうだい21』を、ぜひ多くの農家に育てていただきたいと、PRに力を入れています。実際に作ってくださった農家の方々や、食べていただいた方々には、好評です」と居城教授は力を入れます。

「この『ゆうだい21』を、ぜひ多くの農家に育てていただきたいと、PRに力を入れています。実際に作ってくださった農家の方々や、食べていただいた方々には、好評です」と居城教授は力を入れます。

「この『ゆうだい21』を、ぜひ多くの農家に育てていただきたいと、PRに力を入れています。実際に作ってくださった農家の方々や、食べていただいた方々には、好評です」と居城教授は力を入れます。



宇都宮大学農学部附属農場で農業実習に取り組む学生たち



宇都宮大学農学部

2 宇都宮発 大学ブランド商品

大学と地域を結ぶ ブランド開発

大学と地域を結びつける新しい試みが、注目を集めつつあります。そのキーワードは「食」。有名百貨店の高島屋では「大学は美味しい!!」と題し、大学が販売している「食」の商品を集めたフェアを定期的に行っています。今回は、宇都宮大学が生産販売している「食」の商品化、大学による農工商連携のアプローチについて取材しました。



「先生方に好評なので、嬉しい」とPRにも力が入る手塚さん

国立大学間コラボから生まれた「森のバスケット」(クッキー) 宇都宮大学では、平成16(2004)年に国立大学法人となってから、大学ブランドの確立と普及に力をいれています。その一環として農学部の農場でできた農産物を使った商品開発を行い、民間とも協力しながら、生産販売を行っています。現在販売しているものは9種類で、峰キャンパスの大学生協や、峰キャンパス前のコンビニエンスストア「ミニストップ」で販売しています。 本年2月末に発表した最新商品「森のバスケット」は、大学オリジナルクッキーで



期待される新品種のお米「ゆうだい21」

問合せ 宇都宮大学 農学部附属農場 〒321-4415 栃木県真岡市下籬谷443 ☎0285-84-2424 http://www.utsunomiya-u.ac.jp

販売場所： 大学生協(峰キャンパス店)、ミニストップ宇都宮大学店。「森のバスケット」は宇大生協と横浜国立大学生協での限定販売です。

●大学ブランドの商品一覧(税込)

- 1 森のバスケット (8枚入り) 822円
- 2 ゆうだい21(オリジナル米) (2kg) 1,000円
- 3 モッツアレラチーズ (140g) 590円
- 4 フレッシュチーズ (150g) 590円
- 5 モッツアレラのたまり漬け (100g) 590円
- 6 さけるチーズ (80g) 590円
- 7 宇どん(乾麺) (250g) 110円
- 8 ミルクソース (150g) 590円
- 9 宇大浪漫(麦焼酎) (720ml) 1,340円